附属桃山中学校におけるパソコン活用

附属桃山中学校情報委員会　下村　勉

1　学校裁量時間の取り組み

本校では、昭和６１年度にパソコン教室（パソコン４３台、平成３年度と平成１０年度に更新）が設置され、また、平成５年度に情報処理センターからの移管により理科室などに１２台のパソコンが設置されるなどハード、ソフトの両面の充実に伴い、パソコンを利用した授業が年間のべ数百時間は行われている。さらに、平成５年度より学校裁量の時間を利用した「パソコン学習の時間」を設定している。これは、教科の授業等でパソコンを使用する場合に、その授業の中でいちいちパソコンの使い方を練習していたのでは、本来その教科がその時間に行いたいことを学習する時間が少なくなってしまう。また、パソコンの使い方の練習というものは、各教科がバラバラに行うより、まとめてやった方が効果的である。以上のような理由から、前もってパソコンの基本的な操作方法を学習しておくことを目的として設定されたものであった。

学年	学期	内　　容
１年	１，２	基本操作、ワープロ基礎、描画基礎
２年	１，２	表計算基礎（表の操作、グラフ化） ワープロ応用１（表計算との組み合せ）
３年	１，２	ワープロ応用２（表計算、描画との組み合せ） 課題ﾚﾎﾟｰﾄ作成(ﾜｰﾌﾟﾛ、表計算、描画を組み合せて)

実際の「パソコン学習の時間」は、それぞれの学年で上の表のような内容の取り組みを行っている。同じワープロソフトの学習でも学年が進むにつれて、表計算や描画ソフトで作成した表やグラフをワープロに取り込み、文章と組み合わせることによって、より高度な使い方を学習していけるように設定し、各教科や総合的な学習の時間に、資料をもとにした課題研究レポートなどを作成させる場合、効果的にワープロソフトが使えるように計画した。また、使用するソフトは、このワープロで作成した文章の中に表やグラフを取り込むことが比較的簡単に行えることや情報基礎での利用も考えて、ハイパーキューブ（スズキ教育ソフト）を用いている。

このパソコン学習を実施するためには、パソコン教室の使用時間を各クラスに割り当てる必要がある。この時間として、１、２学期の１・３・５週の時間割の中に、前述の通り各クラス１時間の学校裁量の時間を次のページの時間割のように設定している。

昨年度の総合的な学習の実践においても、この「パソコン学習の時間」に学習した内容は役立

っていたと言える。例えば、グループのレポートを作成する場合に、タイトルをキューブワード（ワープロ）で作成したり、キューブカルク（表計算ソフト）を使って、調べた結果を表やグラフに表したりと、必要に応じて活用していた。

現在は、昨年度末のパソコン更新に伴い、Win98 に対応した新しいテキストの整備と担当教員の研修を行っているところであり、２学期より本格的な学習が開始される予定である。

平成１１年度　１学期のパソコン教室の割り当て

	月	火	水	木	金	土
1	三／４	一／３			三／３	一／２
2		二／１				二／３
3						
4		二／２			一／１	
5			三／２	一／４		
6			二／４	三／１		

２　総合的な学習の時間における利用

本校では、平成９年度より総合的な学習の時間を設定しているが、特にその中でも１～３年生の全員の生徒が無学年制で、環境、国際理解、健康福祉の３つの分野の全１５コースに分かれて行う選択制のＭＥＴと呼ばれる時間を設けていることが特徴である。

このＭＥＴでは、生徒の主体的な学習活動を教師が支援するという考え方で運営され、その中で必要に応じてインターネットを活用したり、ホームページを作成したりという取り組みが行われている。

ただ、昨年度はインターネットに接続可能な生徒用パソコンは１台だけであり、ＭＥＴの時間には、国際系のインターネットコースの生徒が常時使用していた。これは、作成したＨＴＭＬファイルを表示できるパソコンの絶対数が不足している現状ではやむを得ないことであった。そのため、他のコースからインターネットを使った情報検索の要望等は、放課後の時間に職員室に設置されたパソコンで教師が行うなど、生徒が十分にインターネットを活用することができない状態であった。

しかし、今回のＡＴＭネットワークの整備や、パソコン教室の４３台のパソコン全体の更新、さらにパソコン教室以外のどの教室でも利用できるようなノートパソコンの導入、インターネットサーバ用パソコンの設置などを通して、インターネット環境は昨年とは比較にならないほど整備されたことになる。そこで、これらのパソコンを使うことによって、今年度の総合的な学習の時間には、もっと自由にインターネットに接続したり、あるいはホームページの作成などが可能になることが予想できる。現時点では、このＭＥＴの時間は導入段階が始まったばかりであるが、既にいくつかのコースでインターネットによる情報の収集や昨年度に本校で作成したサウンドマ

ップのホームページを校内のサーバ上に置いて、今年度新たにその担当をする生徒に自由に閲覧させるなど、多方面で活用されている。

京都教育大学　機関リポジトリ　クエリの森



この文献は、国立情報学研究所において電子化されたものを、本学でテキスト加工したものです。